

# 令和3年度「安全重点施策」進捗管理表

## 【安全目標】

平成29年度～令和3年度(5年間)の定量的目標  
 ・死亡事故を5年間発生させない

## 【安全重点施策】

- ①人身・車内事故の根絶
- ②有責事故の半減(令和2年度19件) / 自損接触事故の半減(令和2年度17件)
- ③乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認
- ④安全のための投資実施(車両・機器の更新)
- ⑤安全教育の実施

No	安全重点施策	具体的な取組み	達成度	評定理由(現状把握)	未達成の場合の次期以降での対応	実施事項
1	人身・車内事故の根絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故惹起者へのドラレコ分析にもとづく注意喚起</li> <li>・適診時、事故DVDやドラレコ視聴の実施</li> <li>・安全運転中央研修所への参加</li> </ul>	100% 70%以上 70%未満	80%		全国春の交通安全 新入生の乗車確認(スクールバス) 年末年始交通安全運動参加 大月町小中学校安全教室実施
2	有責事故の半減(令和2年度19件) 自損接触事故の半減(令和2年度17件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点呼時の徹底</li> <li>・事故分析にもとづく注意喚起</li> <li>・無事故表彰の実施</li> <li>・推進責任者のセミナーへの参加</li> </ul>	100% 70%以上 70%未満	80%		選任者ガイドラインセミナー受講 セイフティーロードに参加 運行管理者ガイドラインセミナー受講 無事故・無違反5年間対象者なし 統括者内部監査セミナー受講
3	乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内アナウンスによる注意喚起</li> <li>・慎重な目視確認の励行</li> <li>・ICカードの拡販</li> <li>・自社事故ドラレコの活用</li> </ul>	100% 70%以上 70%未満	80%		適性診断対象者受診(16名) 自社事故ドラレコの活用
4	安全のための投資実施 (車両・機器の更新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速車両1台購入</li> <li>・廃止代替車両2台購入</li> <li>・ドライブレコーダーの更新</li> <li>・安全機材の取付(10台)</li> </ul>	100% 70%以上 70%未満	80%		高速バス12月購入 安全機材の取付(10台) ドライブレコーダー更新(3台)
5	安全教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労基法、改善基準告示の再徹底</li> <li>・健康管理の周知・SAS治療の実施</li> <li>・ドライブレコーダー映像の活用</li> <li>・デジタコデータの活用</li> <li>・ヒヤリハット報告書の収集・対策強化</li> <li>・事故・故障等を想定した訓練</li> <li>・救命救護</li> <li>・緊急停止システムの実務</li> <li>・運行管理者・補助者の参加</li> </ul>	100% 70%以上 70%未満	80%		SAS対象者治療 ヒヤリハット報告(32件) 乗務員教育10月実施(11名) 乗務員教育11月実施(4名) 乗務員教育1月実施(5名) 乗務員教育2月実施(5名) 乗務員教育3月実施(23名)

令和4年度「安全重点施策」実施計画表

【安全目標】

令和4年度～令和8年度(5年間)の定量的目標

・死亡事故を5年間発生させない

【安全重点施策】

- ①人身・車内事故の根絶・有責事故(令和3年度13件) / 自損事故の半減(令和3年度12件)
- ②乗降時、着席・離席時および児童・高齢者の安全確認
- ③安全のための投資実施(車両・機器の更新)
- ④安全教育の計画的な実施
- ⑤健康管理の推進

〈月間安全重点項目〉下記

上段・・・○は「計画」 下段・・・実施できたら●

No	安全重点施策	具体的な取組み	推進責任者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実施内容
1	人身・車内事故の根絶 有責事故の半減(令和3年度13件) 自損事故の半減(令和3年度12件)	・適性診断結果を活用した指導 ・充実した点呼の実施 ・事故惹起者への注意喚起 ・5年間無事故表彰の実施 ・推進責任者セミナーへの参加 ・危険予知運転の励行	渡辺・荒木・鶴井	○		○		○		○		○		○		
2	乗降時、着席・離席時および 児童・高齢者の安全確認	・車内アナウンスによる注意喚起 ・慎重な目視確認の励行 ・ICカードの拡販 ・自社事故ドラレコの活用	渡辺・荒木・鶴井	○			○			○			○			
3	安全のための投資実施 (車両・機器の更新)	・乗合車両1台購入 ・廃止代替車両2台購入 ・ドライブレコーダーの更新 ・安全機材の取付	渡辺・荒木・鶴井		○			○			○			○		
4	安全教育の計画的な実施	・改善基準告示の再徹底 ・ドライブレコーダー映像の活用 ・11項目教育の実施 ・ヒヤリハット報告書の収集・対策 ・事故・故障等を想定した訓練 ・救命救護 ・緊急停止システムの体験 ・運行管理者・補助者の参加	渡辺・荒木・鶴井		○	○	○		○	○	○			○	○	
5	健康管理の推進	・体調報告 ・健康診断結果の管理 ・自己管理の徹底 ・SAS治療の実施 ・予防接種の推進	渡辺・荒木・鶴井			○		○		○			○			

